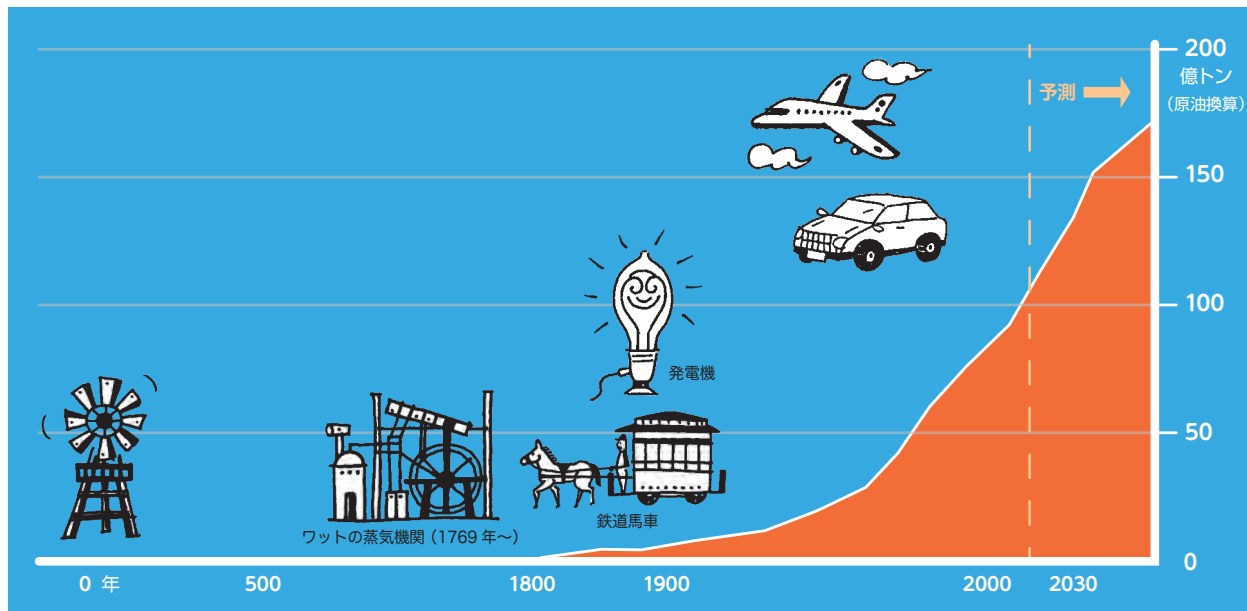


1

世界のエネルギー消費量はどうなっているのか？

● 人類の進歩とともにエネルギー消費は増え続けている

世界全体のエネルギー消費量 (石油換算)



【出典】資源エネルギー庁「わたしたちのくらしとエネルギー」をもとに作成

人類最初のエネルギー源は、薪(まき)などを使って燃やした火でした。やがて、水車や風車、馬車などを使うようになりました。石炭を使うようになったのは産業革命からです。蒸気機関が発明されて、機関車や工場ができると人々の生活は大きく変わりました。20世紀になると、工場、自動車、飛行機、暖房などの燃料や化学製

品の原料として石油が大量に消費されるようになります。家庭に電気が普及すると、生活はより便利で豊かになり、消費するエネルギーの量も急激に増えていきました。今後も世界の人口は増え続け、生活水準が高くなるにつれ、必要なエネルギーがますます増えていくでしょう。

● 宇宙から見た夜の地球はどんなだろう？



Credit: NASA Earth Observatory images by Joshua Stevens, using Suomi NPP VIIRS data from Miguel Román, NASA's Goddard Space Flight Center

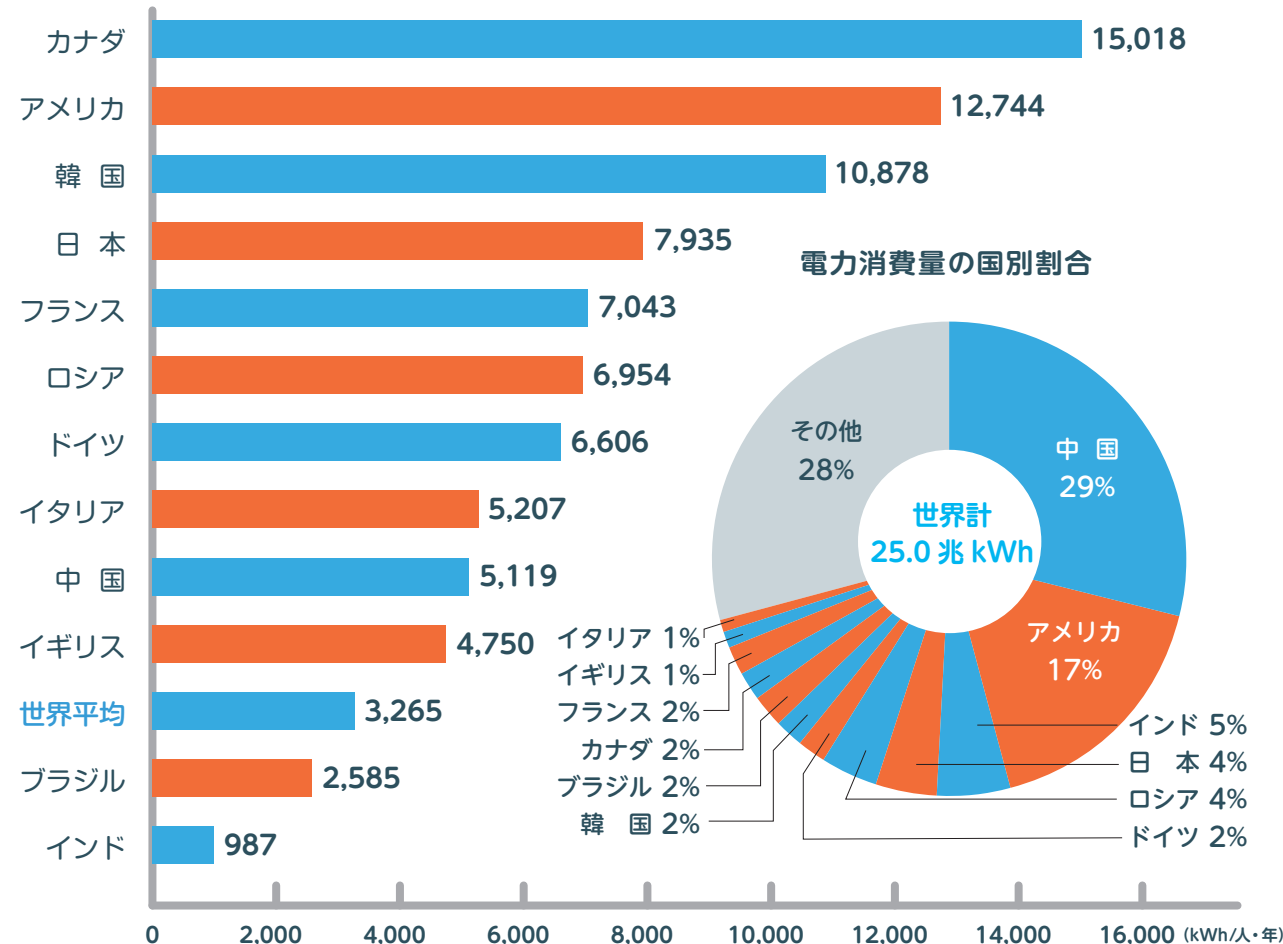
これはNASAの宇宙衛星が2016年に撮影した地球の夜景です。東京、ロンドン、ニューヨークなどの国際的大都市は、夜も明るく輝いているのがわかります。

また、中国、インド、ブラジルなどの新興国でも幹線道路がわかるほど、明るく輝くようになっています。一方、暗く見えているアフリカなどではおよそ7.7億人が電気がない生活を送っています。

● 各国のエネルギー消費量を電力で比較してみよう

各国の一人あたり電力消費量 (kWh/人・年)

(2019年)



【出典】日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」
注) 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

一人あたりの電力消費量第1位はカナダです。カナダは湖や川などの水資源に恵まれ電気料金が安く、冬の寒さが厳しいので電気の消費量が多くなっています。アメリカは国別電力消費量が世界の6分の1を占め、一人あたりの電力消費量も多くなっています。一方、国別

電力消費量第1位は中国ですが人口がアメリカの4倍以上なので、一人あたりの消費量は低くなっています。世界第4位の電力消費国日本は、一人あたりの電力消費量も世界平均の2倍以上です。



考えてみよう！

今後も世界各国のエネルギー消費量が増え続けるとどうなると思う？